

次世代の学校・教育現場を見据えた
先端技術・教育データの利活用推進

成果報告会

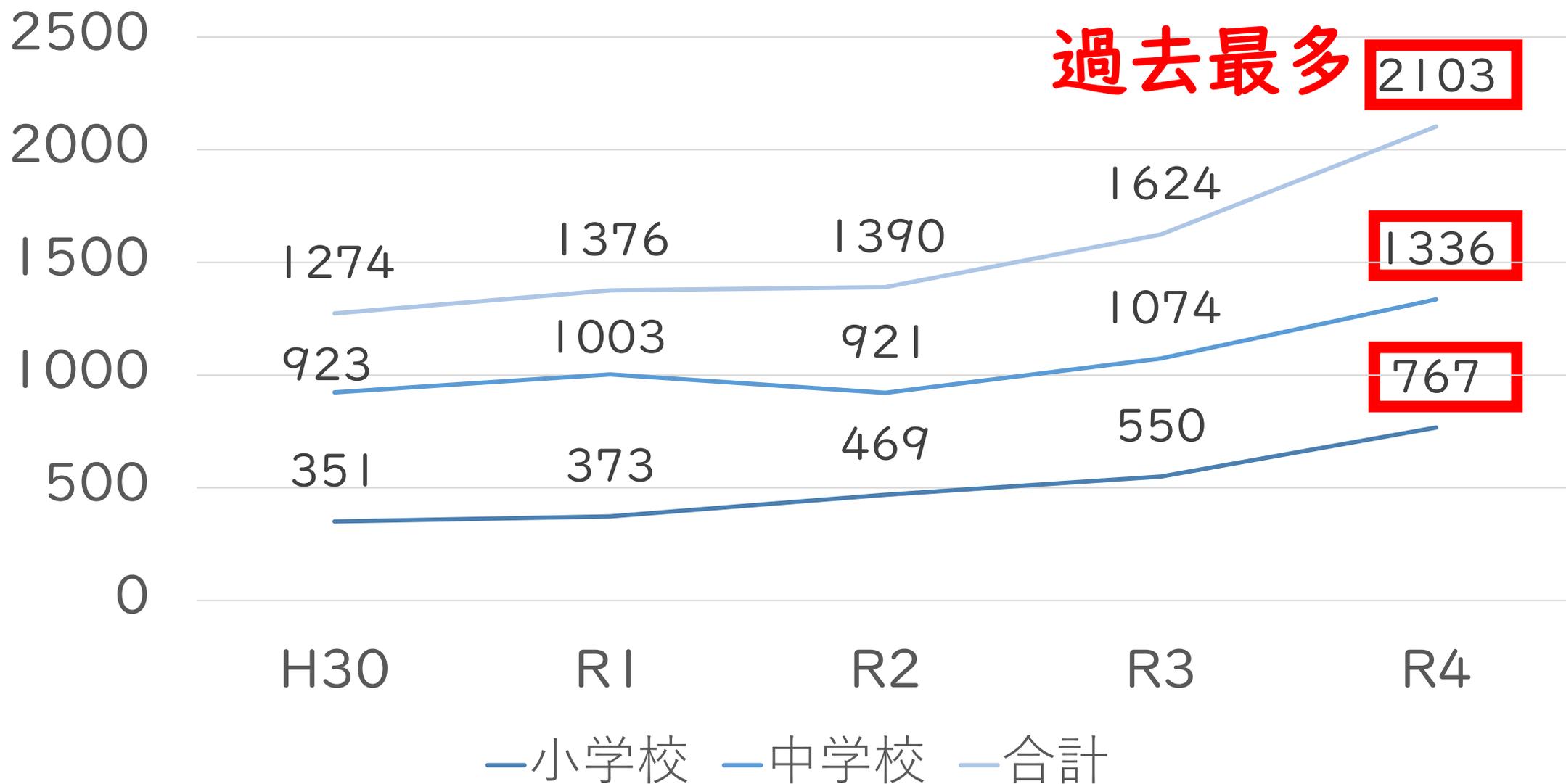
令和6年 2月8日(木)
さいたま市教育委員会

研究テーマ

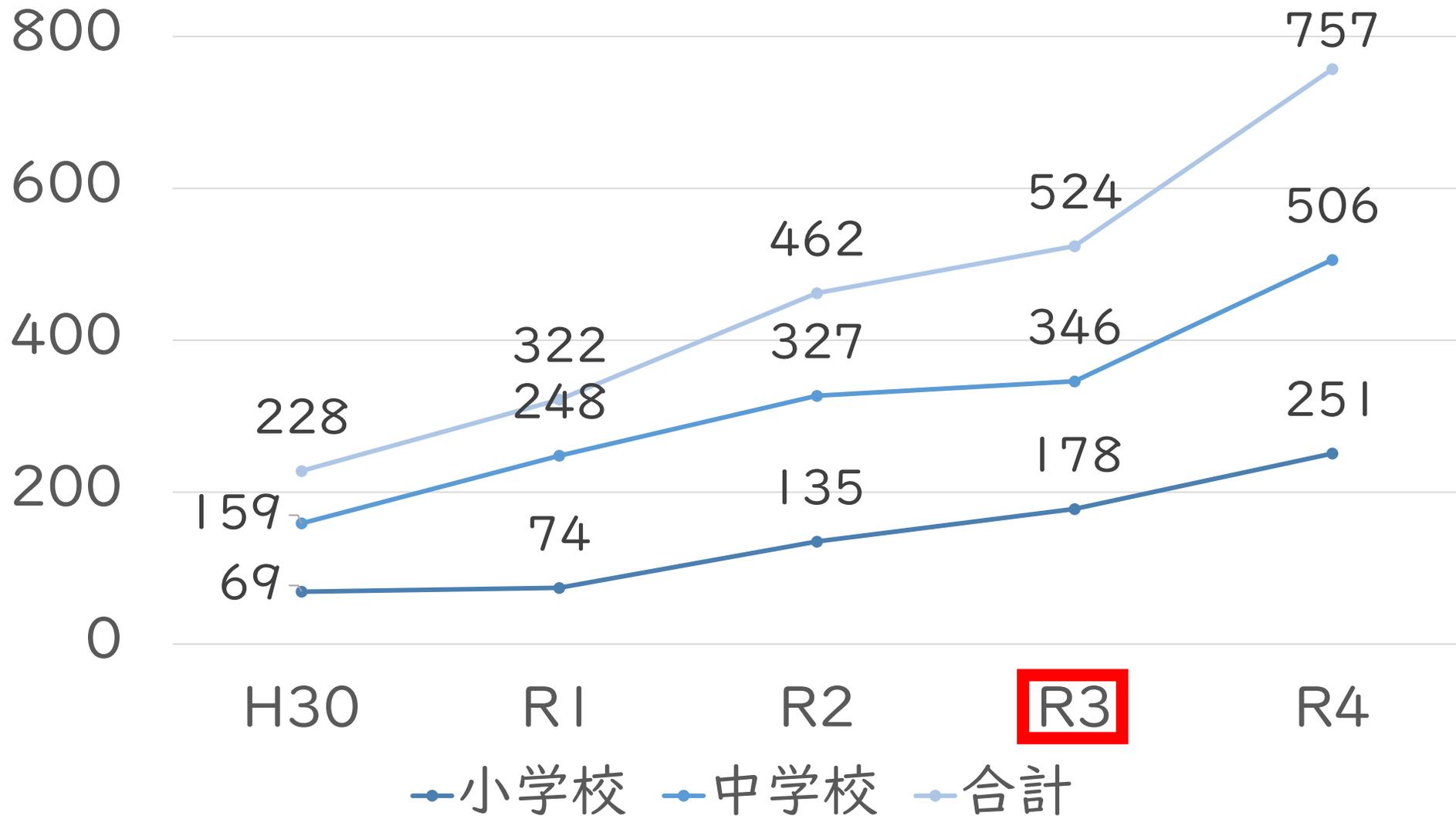
学びの多様化学校 ～未来の学び場への挑戦～

オンライン登校 × リアル登校
先端技術 × 個別最適な学び

さいたま市の不登校の現状



学校内外で相談・指導等を受けていない人数





不登校等児童生徒支援センター (Growth)

【目的】

不登校等児童生徒の社会的自立

【対象】

さいたま市立小・中・高等・中等教育学校に在籍する、原則30日以上欠席が続いている児童生徒

【R4年度体制】

係長	1名
小学校担当	1名
中学校担当	2名

【R5年度体制】

係長	1名
小学校担当	2名
中学校担当	4名
専門職	3名



令和4年度 Growthにおける支援



子育て学習会の実施

保護者会の実施

オンライン学習

体験プログラム

教育相談等

令和4年度 Growth成果と課題

- 令和5年3月末時点申込者数235人
- デジタルと不登校支援の親和性

△ コミュニケーションの機会

△ 個別最適な学びを提供する仕組み

令和5年度 Growthにおける支援

- ・授業型支援の充実 (6回/W → 9回/W)
- ・2D/3Dメタバースの活用
- ・体験活動の充実 (オフ会 2回 → 12回)
- ・メンターによる支援
- ・先端技術を活用した学びの充実
- ・専門職によるオンライン相談
- ・保護者支援の充実 (保護者会 2回 → 3回)

オンライン登校 × リアルな体験

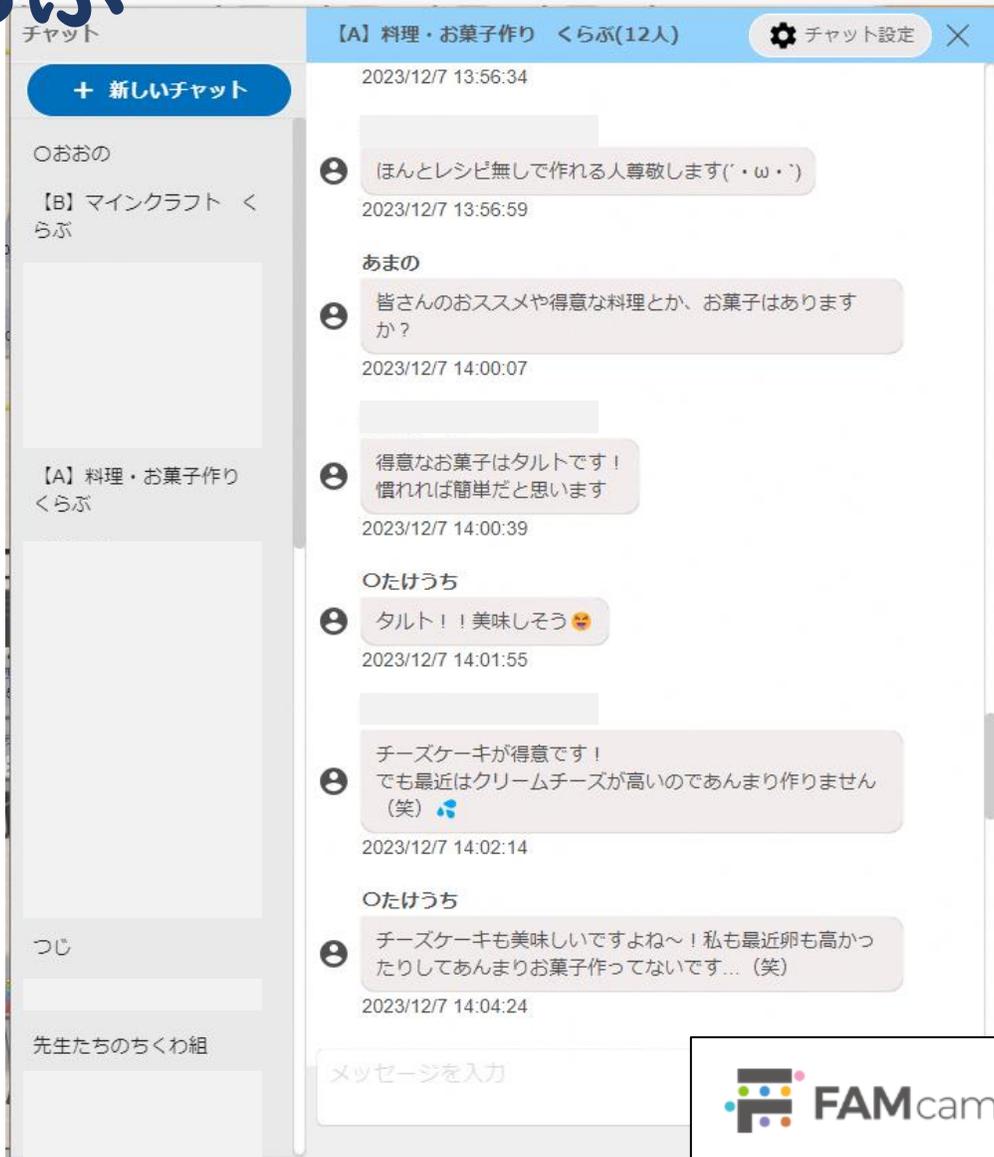
授業型支援



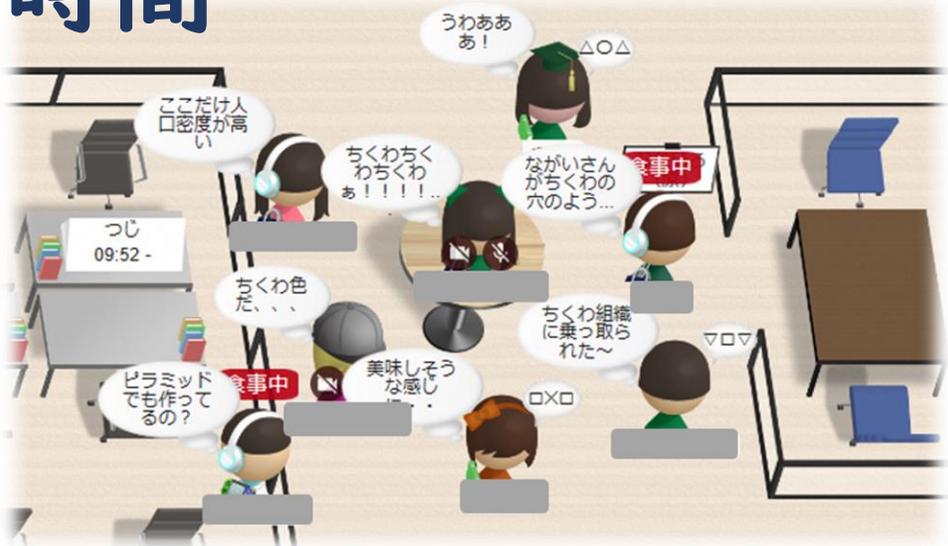
オンライン登校 × リアルな体験

昼食会

くらぶ



休み時間



オンライン登校 × リアルな体験

メタバースレク



オンライン登校 × リアルな体験

オフ会



オンライン登校 × リアルな体験

日帰り体験活動



オンライン登校 × リアルな体験

Growthまつり



先端技術 × 個別最適な学び

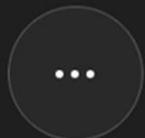
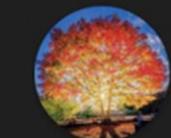


詩人 谷川俊太郎と考える

言葉ってなんだろう？

先端技術 × 個別最適な学び

学習の個性化・指導の個別化



すべて表示



【東北地方】特徴①



池田_growth008



会議チャット

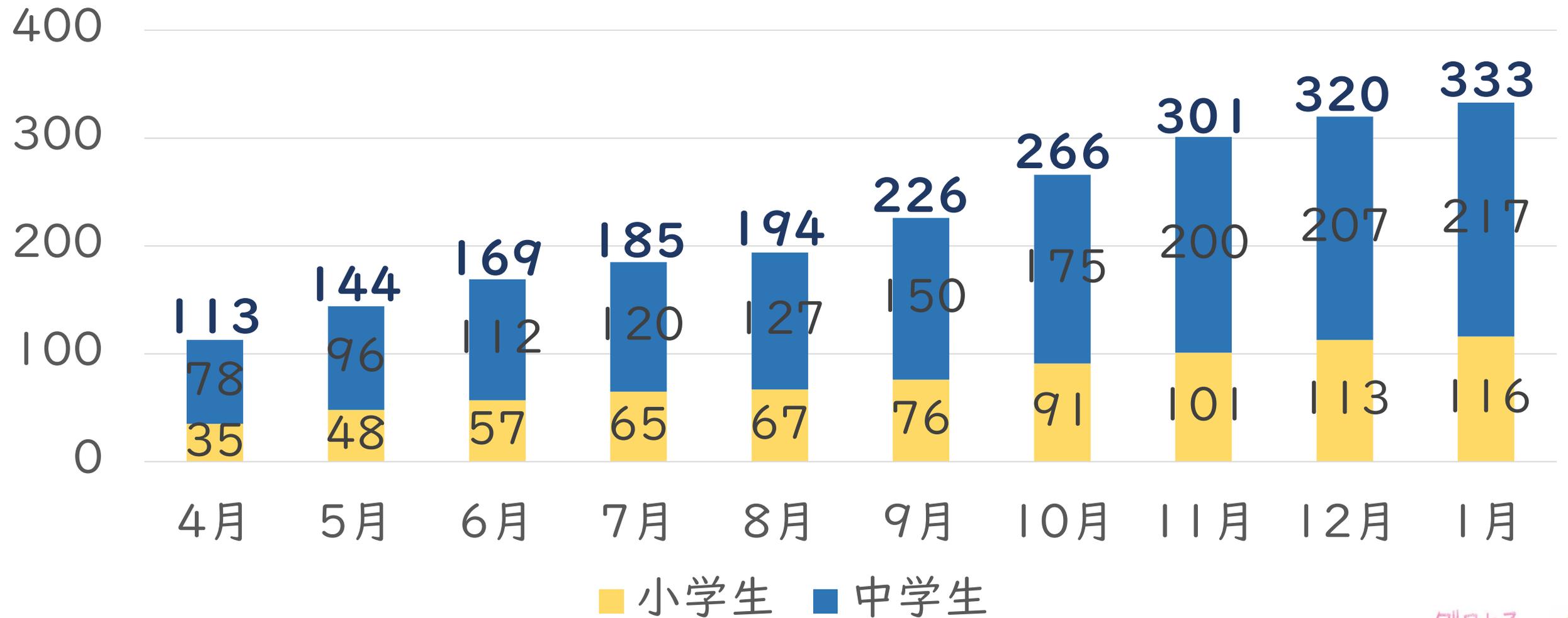


- [Redacted] 11:14
- ひ メロン
- [Redacted] 11:14
- 雪！海鮮！
- [Redacted] 11:14
- いくらですっ！！
- [Redacted] 1:14
- 馬
- [Redacted] 11:14
- ひ ラベンダー？
- [Redacted] 1:14
- 流水

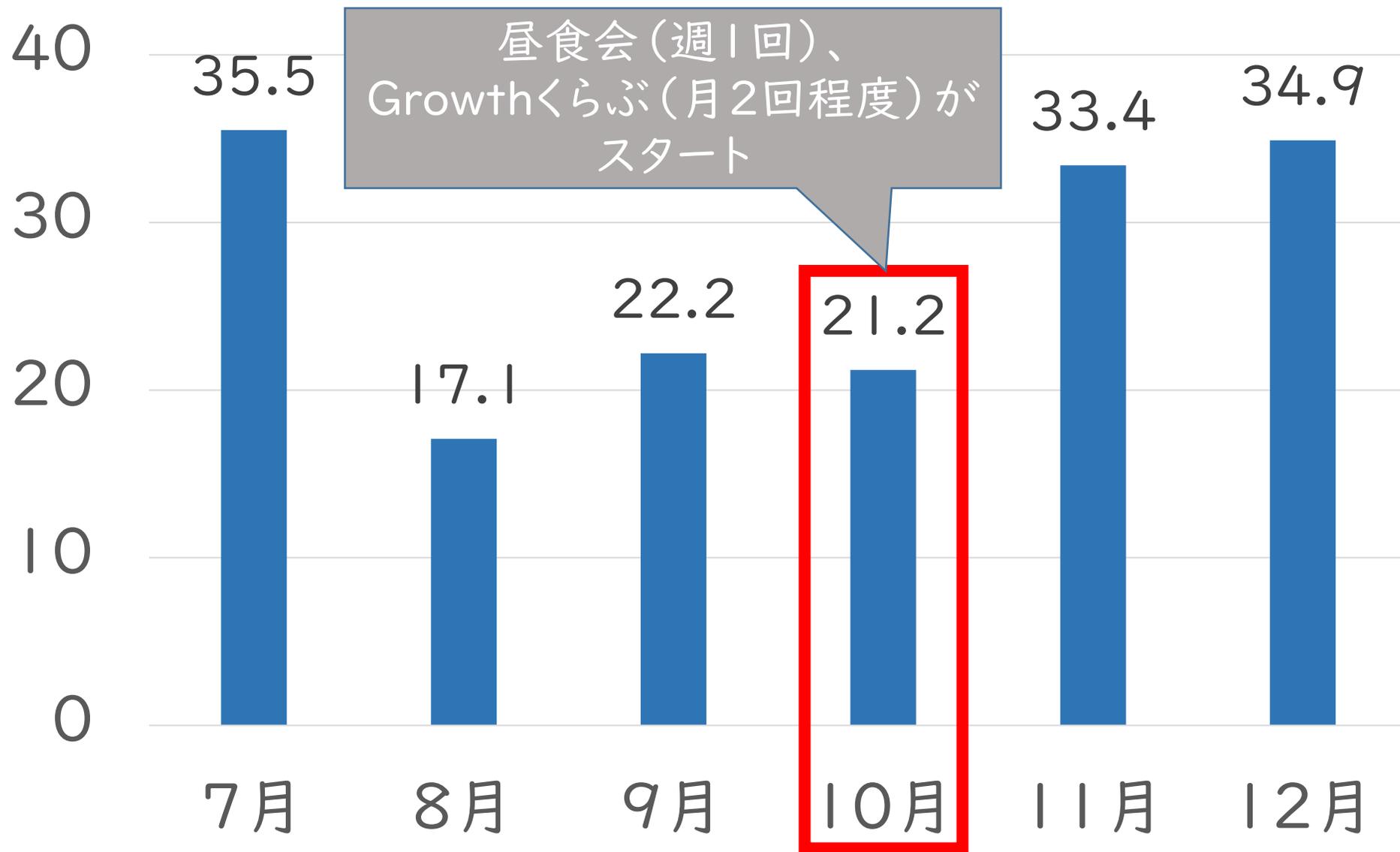
メッセージを入力



R5年度 Growth利用児童生徒数の推移



2Dメタバース実参加人数(1日平均)



昼食会(週1回)、
Growthくらぶ(月2回程度)が
スタート

【平均通話時間】
7月…0.5分
12月…17分

3Dメタバース実参加人数

2学期終業式

1回目	22人
レク	27人
2回目	17人
合計	66人

3学期始業式

1回目	24人
レク	17人
2回目	19人
合計	60人

体験等参加人数

	オフ会	日帰り体験活動
回数	10	1
人数	223	31



InspireHigh 利用状況

実施回数	参加人数
12	129

OP入力人数	平均文字数
67	103.6

FB入力人数	平均文字数
45	32.8

RF入力人数	平均文字数
44	122.1

学習の個性化

【授業型支援】

参加割合 (%)	平均接続 時間(分)
49	34.5

【個別学習支援】

参加割合 (%)	平均接続 時間(分)
15.7	26.3

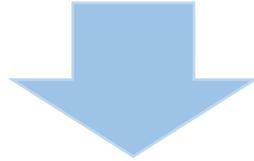


成果検証アンケートの結果

指標名	測定方法	結果 (11月末実績)
社会性の向上	アンケートで社会性が向上したと回答した生徒の割合	1回目が2点台:80.0% 1回目が3点台:42.9%
元気度の向上	アンケートで元気度が向上したと回答した生徒の割合	1回目が2点台:71.4% 1回目が3点台:33.3%

※利用申込後に、「社会性の向上」「元気度の向上」を図るアンケート(各10問、1点から4点で回答し、4点が最も良い)の第1回目を実施。以降、定期的にアンケートを実施し、変化を分析。

メタバースによる児童生徒の居場所の創出
(指導主事×専門職×仕掛け)



自発的な活動の生起



専門職の重要性

令和5年度 Growthの課題

メタバースの利用率の向上

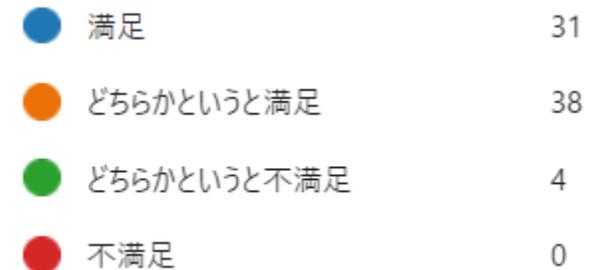
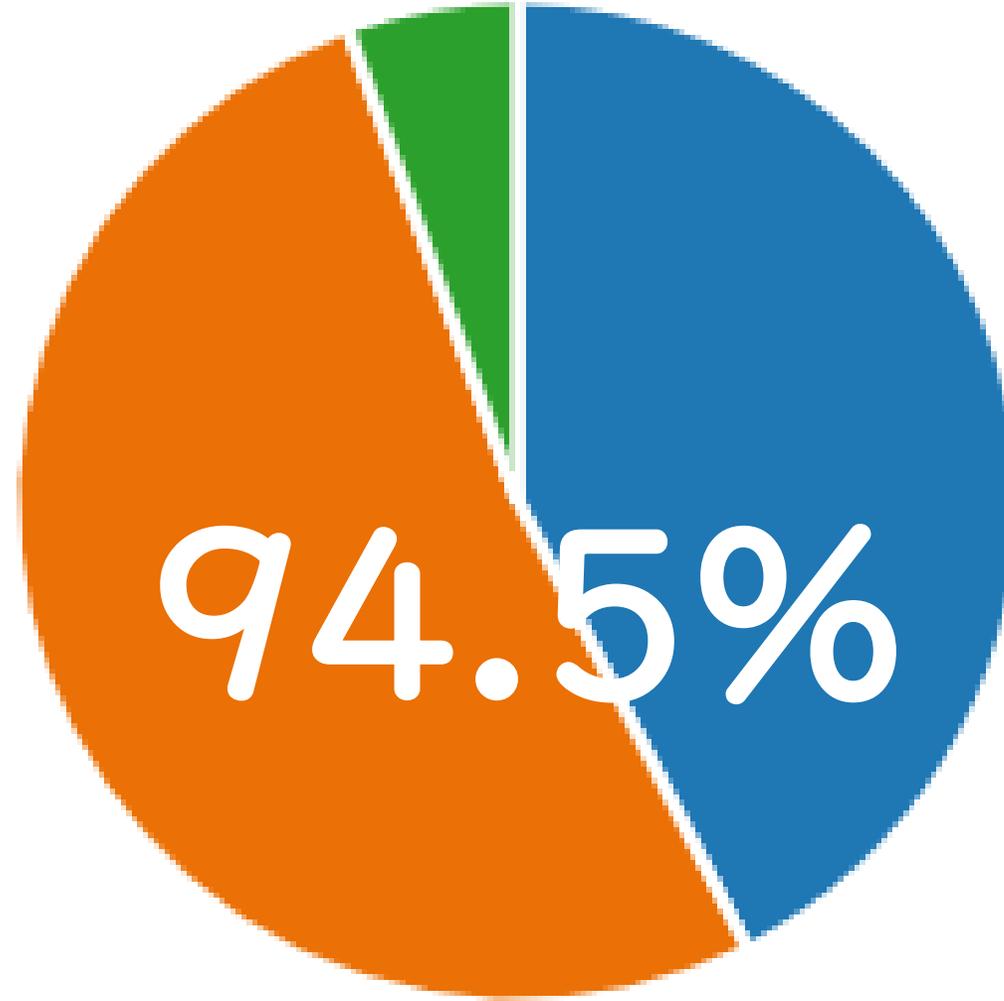
社会性・自己肯定感の向上

個別最適な学びの充実

先端技術活用による探究的・協働的な
学びの充実

学校との情報連携

Growthの活動について感想をお聞かせください。



児童生徒保護者の声

- Growthを利用するようになってから規則正しい生活が出来るようになった。
- Growthに参加するまではメンタルの不調がでていたが、参加するようになってから体調がよくなった。
- 3年以上不登校状態だったのに参加して1か月でびっくりするくらい元気になった。外出もできるようになってきた。
- 学校のオンライン授業を試してみた時になじまなかつたのでGrowthの参加も不安だったが毎日楽しいと言って参加していて参加してよかったと思っている。
- 学校のオンライン授業についていけなくなっていたところ、代わりにGrowthを利用した。社会(学校)生活への参加の機会になり、八方塞がりにならなかつた、孤独にならなかつたと思う。昼夜逆転生活にもなっていたが、Growthの時間に合わせて起床するなど目標にもなった。
- みんなで競ったり、ほめあっている雰囲気が好きで、いつも参加していますが、中でも、自分たちが作成したパワーポイントを発表する時が楽しいです。みんなの個性が一番出るところだから。そして自分が発表した時に優しい言葉をくれる。
- 2Dメタバースが使えるようになって、Growthで知り合った友達と個別で話せるようになって嬉しい。
- 2Dメタバースのわいわいブースでお互いの学校の話ができて参考になる。
- 2学期に入ってから、朝、起きられることが多くなりました。そしてグロウスのみんなと触れ合うことで、新しい趣味が出来ました。先輩方のお話を聞く会の後で志望校も決まりました。こうしてみると、2学期は、大きく成長出来たと思います。

次世代の学校・教育現場を見据えた
先端技術・教育データの利活用推進

成果報告会

令和6年 2月8日(木)
さいたま市教育委員会